



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第1号
新発田市上今泉 366 番地 1 画 33-2435
児童数 237 人 (R.4.4.11 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

瞳輝き、笑顔あふれる加治川小学校に

校長 丸山 久志

春風に迎えられ、1年生が加治川小学校に入学いたしました。学校に元気を与えてくれる1年生が加わり、加治川小学校の教育が本年度無事スタートしたことをご報告致しますとともに、感謝申し上げます。

6日(水)に新任式、始業式、7日(木)には入学式で27名の1年生を迎えました。



入学式は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮して参加人数を制限しての式ではありましたが、その分、これまで以上に、心のこもった式にしようと準備を進めてまいりました。お家の方々に祝福され、暖かな陽差しの中、加治川小学校の一員となった1年生は、きらきら輝く笑顔でした。

6日から春の全国交通安全運動が始まり、子どもたちは地域の方に見守られながら、安心して登校することができています。学校前の交差点でも駐在所の菊池さんや地域の大川原さんが、横断歩道を誘導してくださったり、「おはようございます」「いってらっしゃい」と声をかけてくださったりしています。

朝のこの様子から、私は、学校だけが教育の場ではないということあらためて感じました。家庭や地域の協力体制なしには、望ましい子育てはできません。さらに、祖父母の方々の協力が加わることで、よりすこやかに子どもたちを育てられると思います。

教育は、共育(キョウイク)であるという主張があります。すなわち、教育は子どもと「共に育つ」ことであるという考え方です。

この言葉は様々なとらえ方ができます。子ども同士が「共に育つ」、子どもと教師が「共に育つ」、子どもと親が「共に育つ」という意味にも受け取ることができます。

つまり、大人が学校、家庭、地域で互いの役目を発揮することが子育ての基本であるということです。その意味では、教育は子どもを取り巻く大人たちが協力して行う「協育」とも、解釈することができます。

加治川小学校を支えていただいている校区においては、人、組織が充実し、そして絆と笑顔とがあふれていることを実感しています。今後益々、学校・家庭・地域が子どもたちのすこやかな成長のために、「共育」や「協育」の多くの実践の場となるようご支援よろしくお願い致します。

加治川小学校237名の子どもたちが「学校が好き」「友達が好き」「自分が好き」こんな思いがもてる学校を皆様方と一緒に目指していきたいと思っています。

入学式では、やや緊張気味の27名の1年生でしたが、一日一日と学校生活にも慣れ、友達も増え次第に行動範囲も広がってきているようです。2年生から6年生も新しい学年を迎えて、表情に希望があふれています。